



第11号様式 (第17条第1項)

ND, 350

平成30年度 補助金等実績報告書

平成30年11月30日

函館市長 工藤 壽樹 様

〒041-0852

住 所 函館市鍛冶1丁目2-3

補助事業者等

団体名 函館日韓友好親善協会

代表者氏名 会長 福島 憲成

補助事業等の名称 韓国高陽市での姉妹都市交流事業

平成30年10月4日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成30年11月13日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	200,000	円
補助金等領収済額	金	200,000	円
補助金等領収未済額	金	0	円

補助事業等の実績書

名 称	韓国高陽市での姉妹都市交流事業
開 催 期 日	平成30年10月27日～31日 (高陽市滞在29日～31日)
開 催 場 所	韓国高陽市およびソウル
主催者，共催者 および後援者等	函館日韓友好親善協会
参 加 人 員	15名（函館市内在住者10名）
補 助 事 業 等 の 内 容	姉妹都市である韓国高陽市をはじめとした韓国との友好親善を促進するため，本年10月に高陽市およびソウルへ当会会員等を派遣し，大学訪問やホームステイなどによる交流事業のほか，市役所への表敬訪問などを行った。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	当該事業の実施により，今後，韓国，特に高陽市教育関係者との間において，両市文化交流のより一層の推進が図られるとともに，市民レベルでの交流の発展および友好の促進に寄与した。
備 考	

- (注)
1. この様式は，大会等の開催その他これに類する事業等に補助金等の交付を申請し，または，これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は，詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. その他必要と認められた書類を添付すること。

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
自己資金	1,585,000	879,000	1,586,280	768,200	1,280	△110,800	
函館市補助金	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0	
合 計	1,785,000	1,079,000	1,786,280	968,200	1,280	△110,800	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
旅費・滞在費	1,785,000	1,079,000	1,786,280	968,200	1,280	△110,800	
合 計	1,785,000	1,079,000	1,786,280	968,200	1,280	△110,800	

※実績報告の場合 収支差引額 0円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

決算額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
自己資金	1,586,280	768,200	参加者負担金	
函館市補助金	200,000	200,000	函館市国際交流事業活動補助金	
合 計	1,786,280	968,200		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

決算額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考
		うち, 補助対象事業		
旅費・滞在費	1,786,280	968,200	<p>■学生（日韓友好親善協会） 旅費・滞在費：1,326,600円 （ソウル市内） @ 5,200円×8名＝41,600円 @ 9,300円×2名＝18,600円 @ 5,200円×3名＝15,600円 （高陽市内） @ 94,200円×8名＝753,600円 @107,300円×2名＝214,600円 @ 94,200円×3名＝282,600円</p> <p>食費および入場料：104,000円 @ 8,000円×13名＝104,000円</p> <p>ホームステイ：67,080円 @50,000ウォン×13名＝650,000ウォン @650,000ウォン×0.1032＝67,080円 ※1円＝0.1032ウォン(10/26両替レート)</p> <p>■引率者（函館大谷短期大学） 引率者旅費 288,600円 @ 144,300円×2人＝288,600円</p>	<p>領収書① 補助対象外</p> <p>うち補助対象10名 968,200円</p> <p>（補助対象外）</p> <p>領収書②（補助対象外） ※申請時は、補助対象としていたが（50,000円）、領収証の宛名が対象団体ではないため、対象外経費として処理</p> <p>領収書③ （補助対象外）</p>
合 計	1,786,280	968,200		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算（決算）書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。